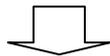
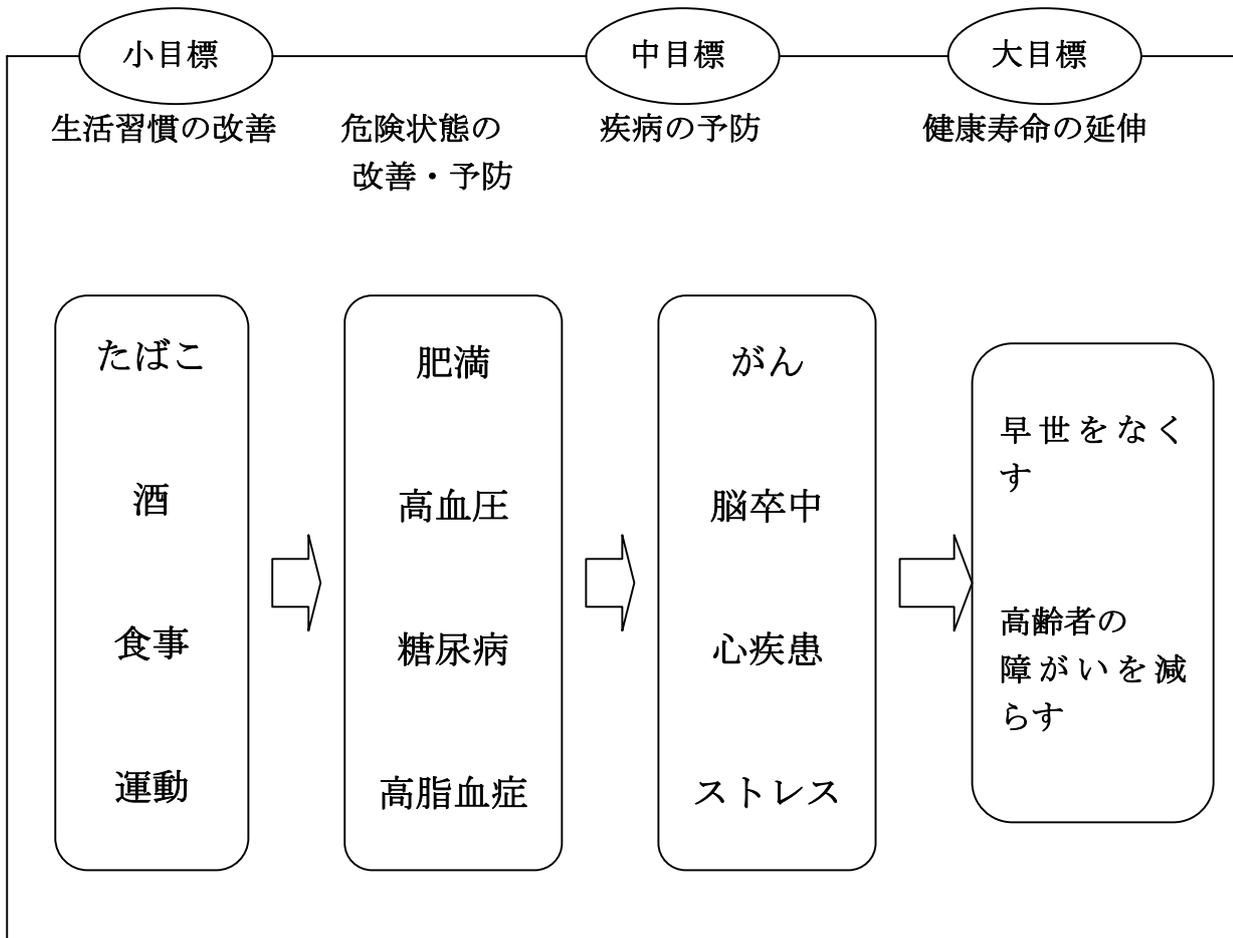


## 第5章 健康のまちづくり計画の目標項目

### 1 指標・目標の設定に関する考え方

当初計画は具体的な数値で目標を設定し21年に中間評価をし、10年後には目標値に達成する事を目指します。



元気あふれる町

## 2 取り組む項目

### 目標達成のための推進

	食生活 栄 養	身体 活動 運動	心の 健康	たばこ	アルコ ール	歯の 健康	循環器	糖尿病	がん
<b>自分の健康状態を知っている</b>									
健診を受ける	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康状態把握 している						○	○	○	○
かかりつけ医 がある						○	○	○	○
<b>健康的な生活習慣を理解できる</b>									
自分に合った 食生活を知っ ている	○				○		○	○	
自分に合った 運動を知って いる		○					○	○	
飲酒について 正しい知識を 得ている			○		○				
たばこに関す る正しい知識 を得ている			○	○			○		○
正しい健康情 報入手方法を 知っている	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>健康的な保健行動を実践できる</b>									
望ましいしい 食生活を実践 している	○						○	○	

自分に合った運動を実践している		○						○	
アルコールの適量を守っている					○				
たばこのルールを守っている				○					
歯を大切にしている						○			
ストレスを解消している			○						
健康に関する催しに参加し実践する	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>健康づくりが地域に根づく</b>									
職場が健康づくりに取り組む	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校教育で健康に関する取り組みを実施している	○	○	○	○	○	○	○	○	○
家庭が健康状態について関心を持っている	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康づくりを推進している町民が自主活動を展開する	○	○							

### 3 ライフサイクル・分野別健康づくりの重点項目

#### 行動指針

#### 健康づくりのポイント

すくすく  
のびのび期  
0～6歳

健やかな  
心身の成長

- 1 1日3回食事をする習慣を身につけましょう
- 2 楽しく食べましょう
- 3 豊富な食材を摂取しましょう
- 4 親子で自然を楽しみましょう
- 5 地元で開催されるイベントに参加しましょう
- 6 受動喫煙から身体を守りましょう
- 7 よく噛んで食べましょう
- 8 虫歯の予防をしましょう
- 9 規則正しい生活習慣を身につけましょう
- 10 元気な体と心をつくりましょう

きらきら  
活動期  
7～12歳

健康的な  
体と心の基  
礎をつくる

- 1 体によい食物を選択する学習をしましょう
- 2 間食の適正量を理解しましょう
- 3 欠食をしない食習慣を身につけましょう
- 4 十分な運動で健康づくり、体力づくりの基礎を身につけましょう
- 5 喫煙の害を理解しましょう
- 6 飲酒の健康被害を理解しましょう
- 7 虫歯の予防をしましょう
- 8 よく噛んで食べましょう
- 9 規則正しい生活習慣を身につけましょう
- 10 健康な身体について学びましょう
- 11 身体を大切にしましょう
- 12 元気な体と心をつくりましょう

きらきら  
活動期  
13～18歳

健康的な体  
と心を育む

- 1 体によい食物を選択する学習をしましょう
- 2 間食、夜食の適正量を理解しましょう
- 3 欠食をしない食習慣を身につけましょう
- 4 十分な運動で健康づくり、体力づくりの基礎を身につけましょう
- 5 規則的な生活リズムをつくりましょう
- 6 喫煙の害を理解しましょう
- 7 飲酒の健康被害を理解しましょう
- 8 虫歯の予防をしましょう
- 9 規則正しい生活習慣を身につけましょう
- 10 健康な身体について学びましょう
- 13 身体を大切にしましょう
- 14 元気な体と心をつくりましょう

ますます  
輝く期  
19～39歳

健康な生活  
習慣の確立

- 1 体によい食べ物、食べ方を選びましょう
- 2 食事バランスガイド\*<sup>1</sup>で毎日の食事をチェックしてみましょう
- 3 自然豊かな町内を楽しく歩きましょう
- 4 気軽にどこでも、生活活動も運動、身体を動かしましょう
- 5 地域の行事に参加しましょう
- 6 趣味の運動やスポーツ・レクリエーションを楽しみましょう
- 7 眠る工夫をしましょう
- 8 喫煙の害を理解しましょう
- 9 妊婦は喫煙をやめましょう
- 10 飲酒の健康被害を理解しましょう
- 11 毎食後の歯磨きをしましょう
- 12 虫歯の治療をしましょう
- 13 定期的な歯科検診を行いましょう
- 14 自分、家族の体の変化、心の変化に気づきましょう
- 15 健診を受け身体の状態を把握しましょう
- 16 健診結果を活かしましょう
- 17 生活習慣を見直しましょう

はつらつ  
活動期  
40～64歳

健康的な65歳  
生活習慣の維持

- 1 体によい食べ物、食べ方を選びましょう
- 2 食事バランスガイドで毎日の食事をチェックしてみましょう
- 3 自然豊かな町内を楽しく歩きましょう
- 4 気軽にどこでも、生活活動も運動、身体を動かしましょう
- 5 こちよくぐっすり眠りましょう
- 6 喫煙の害を理解しましょう
- 7 禁煙しましょう
- 8 適切な飲酒量を守りましょう
- 9 8020を目指しましょう
- 10 毎食後歯磨きをしましょう
- 11 定期的な歯科検診を行いましょう
- 12 自分、家族の体の変化、心の変化に気づきましょう
- 13 健診を受け身体の状態を把握しましょう
- 14 健診結果を活かしましょう
- 15 生活習慣を見直しましょう

いきいき  
充実期  
65歳以上

活動できる  
85歳

- 1 体によい食べ物、食べ方を選びましょう
- 2 元気に楽しく歩きましょう
- 3 こちよくぐっすり眠りましょう
- 4 喫煙の害を理解しましょう
- 5 適切な飲酒量を守りましょう
- 6 8020を目指しましょう
- 7 口の手入れを行いましょう
- 8 生活を外に広げましょう
- 9 骨折、転倒に負けない体力づくりをしましょう
- 10 健診を受けて、身体、生活機能の把握をしましょう
- 11 病院やサービスを賢く利用し生活機能の維持、病気の重症化を防ぎましょう

\* 1 望ましい食生活についてのメッセージを示した「食生活指針」を具体的な行動に結びつけるものとして、1日に「何を」「どれだけ」食べたらいいかの目安を分かりやすくコマのイラストで示したものを。

#### 4 目標値

項目	対象	当初計画		備考
		基準値	目標値	
		平成18年	平成22年	
食事内容、適正量に気をつけていない人の減少	20歳以上の男女	22.3%	15%	
食生活改善に関心はあるが今すぐ取り組もうと思わない人の減少	20歳以上の男女	30%	25%	
栄養成分表示を正しく理解し、参考にする人の増加	20歳以上の男女	47%	60%	
おやつが食事に差し支える幼児の減少	乳幼児とその保護者	1歳半健診： 18.3% 3歳児健診： 25.2%	1歳半健診： 15% 3歳児健診： 20%	
運動不足を感じている人の減少	30～40歳代男女	80%	70%	
運動習慣のある人や効果的な運動をする人の増加	20歳以上男女	30%	35%	
ウォーキングの町民スポーツとしての定着	町民	750人	1500人	参加者延べ人数
安全に歩行可能な高齢者の増加	介護予防教室参加者	16秒	18秒以上	
睡眠による休養を十分にとれていない人の減少	20歳以上男女	20%	10%	
イライラした時の対処方法を知っている母親の増加	幼児教室に参加する母親	70%	100%	
妊婦の喫煙率の減少	母子手帳交付した妊婦	5.6%	4.5%	母子健康手帳申請時間診票

項目	対象	当初計画		備考
		基準値 平成18年	目標値 平成22年	
成人の喫煙率の減少	20歳以上 男女	21.3%	15%	
公共施設での受動喫煙をなくす	公共の場	—	100%	
未成年の喫煙者をなくす	未成年者	9.5%	0%	次世代育成支援 行動計画のニー ズ調査
毎日飲酒する人の減少	20歳以上 男女	20%	15%	
適切な飲酒量を守れる 人の増加	20歳以上 男女	51.6%	55%	
未成年の飲酒をなくす	20歳以上 男女	2.9%	0%	次世代育成支援 行動計画のニー ズ調査
歯科検診を受ける人の 増加	20歳以上 男女	30%	40%	
1日2回以上歯を磨く 人の増加	町民	60.7%	70%	
歯間部清掃用具を使用 している人の増加	40歳以上 男女	37.4%	45%	
甘味飲料を習慣的に 飲む幼児の減少	乳幼児	1歳半健診： 29.6% 3歳児健診： 27.4%	1歳半健診： 25% 3歳児健診： 20%	
自分の歯に関心を持つ 人の増加	20歳以上 男女	—	50%	
健康診断を受ける人の 増加	20歳以上	健診を受け る人の割合 16%	健診を受け る人の割合 40%	基準値・目標値は 40～74歳の 国民健康保険 加入者

項目	対象	当初計画		備考
		基準値	目標値	
		平成18年	平成22年	
生活習慣病の有病者の減少	20歳以上	糖尿病 713人 高血圧症 1408人 高脂血症 1034人	減少	基準値・目標値は 40～74歳の 国民健康保険 加入者
がん検診を受ける人の増加	20歳以上 (子宮がん 20歳以上女性・乳がん 30歳以上女性)	肺がん 15.5% 胃がん 19.5% 肝がん 25.1% 大腸がん 20.9% 子宮がん 14.2% 乳がん 13.9% (受診率)	30%	基準値・目標値は 肺・胃・肝臓・大腸(40歳以上)子宮(20歳以上女性)乳房(30歳以上女性)
乳がん自己検診の定着	30歳以上の女性	2.4%	5%	毎月実施
精密検査の受診率の増加	がん検診にて要精密検査受診者	肺がん 66.6% 胃がん 85.5% 肝がん 76.3% 大腸がん 60.6% 子宮がん 85.7% 乳がん 84.4% (受診率)	100%	



## 第6章 健康のまちづくり実施計画

### 1 実施計画の推進の考え方

現状と課題を9分野・ライフステージごとに整理した結果、明らかになった課題から将来的に目指す姿を具体的な数値で目標を設定しました。

目標達成のための推進事項、ライフステージ・9分野別健康づくりの重点項目を掲げ、優先的に取り組む項目を年次で決定し事業、施策を展開します。

計画は町民一人一人が自分に合ったそれぞれの健康法を見つけ実践する事ができるための道標です。

9分野の目指す姿をライフステージ別に展開する事業を挙げました。各事業は地域の仲間や組織、関係機関、行政が協働で取り組みます。

地域で計画を実施し進展状況を確認し、変化する状況（地域、住民の変化）を評価する事で活動内容と意味のある成果の関係づけを明らかにします。

地域診断から保健事業決定、実施、事業評価、影響評価、結果評価を繰り返し目標達成を目指します。

### 2 取り組み項目、対象者、取り組み事業、平成22年達成目標値

平成22年までにどれだけ達成させるかを明らかにしました。

保健事業の企画に取り組む事項として挙げました。

実施、評価を行いながら年度の保健事業を決定します。

### 3 年次実施計画

9分野の目指す姿をライフステージ別に展開する事業です  
関係機関が協働で取り組みます。

### 4 評価

事業評価について、方法、人的、物的資源、内容を調べます。

町民の知識、態度等の変化を調べます。

町民の行動の広がり、時期、環境の変化を調べます。

保健事業の展開に必要な調整を行います。

## 2 取り組み事業

領域	項目	対象者	取り組み事業	当初計画		実施計画			備考
				基準値 平成18年	目標値 平成22年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	
1 栄養・食生活	食事内容、適正量に気をつけていない人の減少	20歳以上の男女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性のための料理教室</li> <li>・健康診断事後報告会での改善指導</li> <li>・特定高齢者のうち低栄養状態である人への改善指導</li> </ul>	食事内容、適正量に気をつけていない人の割合 22.3%	食事内容、適正量に気をつけていない人の割合 15%	○	○	○	
	食生活改善に関心はあるが今すぐ取り組もうと思っていない人の減少	20歳以上の男女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断事後報告会での改善指導</li> <li>・食生活改善に取り組める手軽で簡単な方法の情報提供</li> </ul>	食生活改善に関心はあるが今すぐ取り組もうと思っていない人の割合 30%	食生活改善に関心はあるが今すぐ取り組もうと思っていない人の割合 25%	○	○	○	
	食品の栄養成分表示を参考にする人の増加	20歳以上の男女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性のための料理教室での情報提供</li> <li>・健康診断事後報告会での改善指導</li> <li>・国保ヘルスアップ事業(H19)</li> <li>・特定保健指導</li> <li>・栄養成分表示の見方の普及</li> </ul>	食品の栄養成分表示を参考にする人の割合 47%	食品の栄養成分表示を参考にする人の割合 60%	○	○	○	
	おやつが食事に差し支える幼児の減少	乳幼児とその保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診、育児学級、幼児教室での確認と指導</li> </ul>	おやつが食事に差し支える子供の割合 1歳6ヶ月児健診; 18.3% 3歳児健診; 25.2%	おやつが食事に差し支える子供の割合 1歳6ヶ月児健診; 15% 3歳児健診; 20%	○	○	○	

	項目	対象者	取り組み 事業	当初計画		実施計画			備考
				基準値 平成18年	目標値 平成22年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	
2 身体活動・運動	運動不足を感じている人の割合が減少する。	町民	・健康のまちづくりウォーキング大会 ・運動の健康に与える効果等についての <b>広報活動</b> ・運動関連施設や運動教室、サークル活動の紹介 ・効果的な運動習慣についての <b>情報提供</b>	30～40歳代の運動不足を感じている者の割合 80%	30～40歳代の運動不足を感じている者の割合 70%	○	○	○	
	運動習慣のある人や効果的な運動をする人の割合が増える	町民	・日常生活で取り入れられる具体的な <b>運動指導</b> ・健診結果のハイリスク者に対しヘルスアップ事業による <b>個別指導</b>	健診受診者で定期的に運動習慣のある者の割合 30%	健診受診者で定期的に運動習慣のある者の割合 35%	○	○	○	
	ウォーキングが町民スポーツとして定着する	町民	・健康のまちづくりウォーキング大会 ・ウォーキングトレイルの紹介 ・ウォーキング関連 <b>イベント</b> の紹介 ・健康づくりウォーキング大会の <b>広報活動</b>	まちづくりウォーキング大会参加者 750人	まちづくりウォーキング大会参加者 1,500人	○	○	○	
	安全に歩行可能な高齢者の増加(介護予防教室参加者の開眼片足立ち時間が18秒以上の者の増加)	介護予防教室参加者	・高齢者の <b>介護予防教室</b> ・ <b>特定高齢者の把握</b>	介護予防教室参加者の平均開眼片足立ち時間 16秒	介護予防教室参加者の平均開眼片足立ち時間 18秒以上	○	○	○	

	項目	対象者	取り組み 事業	当初計画		実施計画			備考
				基準値 平成18年	目標値 平成22年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	
3 心の健康づくり・睡眠、休養	睡眠による休養を充分にとれていない人の減少	20歳以上の男女	・広報、温泉施設に『快適な睡眠のための7箇条』の掲載、掲示	睡眠を十分にとれていない人の割合 20%	睡眠を十分にとれていない人の割合 10%	○	○	○	
			・ストレス耐性を高める生活習慣の改善、リラックス法習得のきっかけとしてのウォーキング大会開催と参加勸奨			○	○	○	
			・心の病気・生活習慣改善への保健指導			○	○	○	
	イライラした時の対処方法を知っている母親の増加	乳幼児の母親	・乳幼児健診・育児・幼児学級で母親のストレス把握	イライラした時の対処方法を知っている母親の割合 70%	イライラした時の対処方法を知っている母親の割合 100%	○	○	○	
			・乳幼児健診・育児・幼児学級で母親のストレス耐性を高める生活習慣の改善、リラックス法習得の保健指導			○	○	○	
			・乳幼児健診・育児・幼児学級で乳幼児の生活リズム確立の重要性についての保健指導			○	○	○	
			・生活リズム、ゆとり、楽しみ、自然から取り入れるきっかけとしてのウォーキング大会参加勸奨			○	○	○	
			・幼児学級で母親が自分の時間を見つけるきっかけができる			○	○	○	
			・精神科医、心理専門家からの援助			○	○	○	

	項目	対象者	取り組み 事業	当初計画		実施計画			備考
				基準値 平成18年	目標値 平成22年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	
4 たばこ	妊婦の喫煙率の減少	喫煙妊婦	・妊婦相談(リーフレット「大切な新しい家族のために禁煙を」を活用して) ・禁煙希望妊婦の個別禁煙教育	妊婦の喫煙の割合 5.6%	妊婦の喫煙の割合 4.5%	○	○	○	
	成人の喫煙率の減少	町民・成人喫煙者	・喫煙が及ぼす健康影響について知識を普及させるための <b>広報活動</b> ・健診受診者の中で喫煙している者への <b>情報提供、改善指導</b>	成人の喫煙の割合 21.3%	成人の喫煙の割合 15%	○	○	○	
	公共の施設での受動喫煙をなくす	町民	・受動喫煙が及ぼす健康影響についての知識を普及するための <b>広報活動</b> ・公共施設での分煙に関する <b>取組状況の把握</b>	—	100%	○	○	○	
	未成年者の喫煙をなくす	未成年者	・中学校における <b>禁煙教育の開催</b>	未成年者の喫煙割合 9.5%	未成年者の喫煙割合 0%	○	○	○	

領域	項目	対象者	取り組み 事業	当初計画		実施計画			備考
				基準値 平成18年	目標値 平成22年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	
5 アルコール	毎日飲酒する人の 減少	町民・健診 受診者	・休肝日の必要性について <b>情報提供</b> (パンフレット・広報掲載)	毎日飲酒する 人の割合 20.0%	毎日飲酒する 人の割合 15.0%	○	○	○	
		健診受診 者のうち毎 日飲酒し、 生活改善 が必要な 方	・健康診断事後報告会での <b>改善指 導</b>			○	○	○	
	飲酒習慣のある人 が適切な飲酒量 守れる割合の増加	町民・健診 受診者	・適切な飲酒量について <b>情報提供</b> (パンフレット・広報活動)	飲酒習慣のある 人が適切な 飲酒量を守れ る割合 51.6%	飲酒習慣のある 人が適切な 飲酒量を守れ る割合 55%	○	○	○	
		健診受診 者のうち多 量飲酒し、 生活改善 が必要な 方	・健康診断事後報告会での <b>改善指 導</b>			○	○	○	
	未成年者の飲酒を なくす	未成年者	・未成年者の飲酒による悪影響に ついて <b>知識普及</b> (広報掲載)	未成年者の飲 酒の割合 2.9%	未成年者の飲 酒の割合 0%	○	○	○	

	項目	対象者	取り組み 事業	当初計画		実施計画			備考
				基準値 平成18年	目標値 平成22年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	
6 歯 の 健 康	歯科検診を受ける人の増加	20歳以上の男女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診受診者の把握</li> <li>・予防歯科、8020についての知識普及</li> <li>・正しいブラッシングの方法や手入れの方法の情報提供</li> <li>・町の各種イベントによる歯科教育の普及・啓発</li> </ul>	歯科検診を受ける人の割合 30%	歯科検診を受ける人の割合 40%	○	○	○	
	1日2回以上歯を磨く人の増加	町民		1日2回以上歯を磨く人の割合 60.7%	1日2回以上歯を磨く人の割合 70%	○	○	○	
	歯間部清掃用具を使用する人の増加	20歳以上の男女		歯間部清掃用具を使用する人の割合 37.4%	歯間部清掃用具を使用する人の割合 45%	○	○	○	
	自分の歯（義歯含む）に関心を持つ人の増加			—	自分の歯に関心を持つ人の割合 50%				
	甘味飲料を習慣的に飲む幼児の減少	乳幼児とその保護者		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診、育児学級、幼児教室での確認と指導</li> </ul>	甘味飲料を習慣的に飲んでいる幼児の割合 1歳6ヶ月児健診：29.6% 3歳児健診：27.4%	甘味飲料を習慣的に飲んでいる幼児の割合 1歳6ヶ月児健診：25% 3歳児健診：20%	○	○	

	項目	対象者	取り組み 事業	当初計画		実施計画			備考
				基準値 平成18年	目標値 平成22年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	
87 循糖 環尿 器病 疾患	健康診断を受ける 人の増加	20歳以上 の男女	・生活習慣病健診	健診を受ける 人の割合 16%	健診を受ける 人の割合 40%	○	○	○	基準値・目標 値は40～74 歳の国民健 康保険加入 者
			・健康診断の周知・受診勧奨			○	○	○	
・健康診断の体制整備	○	○	○						
	生活習慣病の有病 者の減少	20歳以上 の男女	・健診結果のハイリスク者に対する 個別保健指導	糖尿病 713人 高血圧1408人 高脂血症1034 人	減少	○	○	○	基準値・目標 値は40～74 歳の国民健 康保険加入
9 がん	がん検診を受ける 人の増加	20歳以上 の男女	・がん検診[肺・肺CT・胃・肝臓・大 腸・子宮・乳房(30歳以上)]	受診率 肺がん15.5% 胃がん19.5% 肝がん25.1% 大腸がん20.9% 子宮がん14.2% 乳がん13.9%	各種健診 30%	○	○	○	基準値・目標 値は肺・胃・ 肝臓・大腸(40 歳以上)・子 宮(20歳以 上)・乳房(30 歳以上)
			・がん検診の周知・啓発活動・受 診勧奨			○	○	○	
	・がん検診の体制整備	○	○			○			
	乳がんの自己検診 の定着化	30歳以上 の女性	・視触診モデルを活用した <b>教室開 催</b>	自己検診毎月 実施 2.4%	自己検診毎月 実施 5%	○	○	○	
・検診受診者に対して自己検診の パンフレット配布			○			○	○		
			・公共の温泉施設4箇所パネル 設置					○	○

	精密検査受診者の増加	がん検診にて要精密検査者	・受診勧奨	肺がん66.6% 胃がん85.5% 大腸がん60.6% 肝がん76.3% 子宮がん85.7% 乳がん84.4%	各種健診 <b>100%</b>	○	○	○	
--	------------	--------------	-------	--	---------------------	---	---	---	--

3 領域別・ライフステージ別実施事業

平成18年度～平成21年度実施事業（予定）

9 領域	指標	すくすくのびのび期 0～6 歳	ますます輝く期 妊産婦・育児中の母	きらきら活動期 7～12 歳	きらきら活動期 13～18 歳	ますます輝く期 19～39 歳	はつらつ活動期 40～64 歳	いきいき充実期 65 歳以上
栄養・食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事内容・適正量を気をつけていない人の減少</li> <li>食生活改善意欲があるが今すぐ取り組もうと思っていない人の減少</li> <li>食品の栄養成分表示を正しく理解し、参考にする人の増加</li> <li>おやつが食事に差し支える幼児の減少</li> </ul>	新生児訪問・子育て応援訪問・乳幼児健診・育児学級		子どものための食育教室			ヘルスサポーター事業	
		つどいの広場	保育園児への食育教室	妊婦相談			男性料理教室	元気いっぱい教室・水中ウォーキング・転ばぬ先の杖教室・パワフル筋力アップ教室・生き生き交流広場
身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動不足を感じている人の減少</li> <li>運動習慣のある人や効果的な運動をする人の増加</li> <li>ウォーキングを町民スポーツとして定着させる</li> <li>安全に歩行できる高齢者の増加</li> </ul>	わいわいクラブ			ニュースポーツ・カヌー・家族リズムテコンドー			
		2歳児親子ふれあい教室				ヨガ・レディースエクササイズ(婦人)・水中体操・リズムテコンドー教室・ゴルフ		元気いっぱい教室・水中ウォーキング・転ばぬ先の杖教室・パワフル筋力アップ教室・生き生き交流広場
心の健康づくり・休養	<ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠による休養を十分に取れていない人の減少</li> <li>イライラした時の対処方法を知っている母親の増加</li> </ul>	乳幼児健診					まちなみ飾花推進補助金・花の種銀行・河口湖ふれあい菜園	
		つどいの広場・こどもらプチ相談会 こどもらベビー・こどもらキッズ		自然観察教室	ジュニアレンジャープログラム			
たばこ・アルコール	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦の喫煙率の減少</li> <li>成人の喫煙率の減少</li> <li>公共施設での受動喫煙をなくす</li> <li>未成年の喫煙をなくす</li> <li>毎日飲酒する人の減少</li> <li>飲酒習慣のある人の適切な飲酒量を守れる人の割合の増加</li> <li>未成年の飲酒をなくす</li> </ul>		妊婦相談		中学生の禁煙教室			
			母親・両親学級				公共施設での受動喫煙防止	
歯の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科検診を受ける人の増加</li> <li>1日2回以上歯を磨く人の増加</li> <li>歯間部清掃用具を使用する人の増加</li> <li>甘味飲料を習慣的に飲む幼児の減少</li> <li>自分の歯に関心を持つ人の増加</li> </ul>	乳幼児健診						元気いっぱい教室・水中ウォーキング・転ばぬ先の杖教室・パワフル筋力アップ教室 生き生き交流広場
		育児学級2	妊婦相談					歯っぴいライフ教室
糖尿病 循環器疾患 がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断を受ける人の増加</li> <li>生活習慣病の有病者の減少</li> <li>ガン検診を受ける人の増加</li> <li>乳がん自己触診の定着化</li> <li>ガン検診精密検査の受診率の増加</li> </ul>	乳幼児健診					生活習慣病健診・人間ドック	けんこう長寿健診
							がん検診（肺・胃・肝臓・大腸・子宮・乳房）	

## 4 評価

平成19・20・21年

事業名・目的	評価項目	目標値	結果	ねらいは達成したか 効果はあったか	課題、翌年度に むけて
妊婦相談  目的 1. 娠届時、「妊娠届出時間 診票」を基に面接し、相談 に応じる。 2. 喫煙妊婦の希望者に禁 煙個別教育を実施する。	妊娠届けをした全妊婦  妊娠中喫煙している妊婦の割合	100%  4.5%			
乳幼児健診  目的 1. 乳幼児の発育・発達に 対する一次スクリーニング 2. 乳幼児の健康増進のた めの相談、指導	受診率（医療機関受診者含む） 離乳食ミニ講話開催実施率 乳幼児の生活リズム確立の重要性 についての保健指導 おやつが食事に差し支えたと回答 した保護者への指導 う歯のある児の率  甘味飲料を習慣的に飲んでいると 回答した保護者への改善指導 牛乳を1日400ml以上飲んで いる児の割合	100% 100% 100%  100%  1歳6ヶ月児 健診 0%、3歳 児健診 20%  100%  1歳6ヶ月児 健診児 5%			

事業名・目的	評価項目	目標値	結 果	ねらいは達成したか 効果はあったか	課題、翌年度に むけて
育児学級  目的 1. 育児における正しい知識の普及、啓発 2. 家庭及び地域の育児力の向上 3. 母親の育児不安の解消	計画、実施率 参加実人数  おやつが食事に差し支えたと回答した人数  イライラした時の対処方法を知っている母親の割合 1日2回以上歯を磨く人の割合	100% 対象者の 50%以上 1歳6ヶ月児健診児 15%以下 3歳児健診児 20%以下 100% 幼児健診児 65%以上			
幼児教室  目的 1. 心身の発達に課題の児や育児不安のある保護者に対して、季節行事を含む製作や遊び、音楽療法等を通じて子供の発達を促す。 2. 保護者が子供への関わり方を学ぶことで児の成長発達を図る。	幼児健診心理相談から対象者を選定する。 対対象児の保護者には日程表を基に教室の目的を説明し、理解した上で参加する教室参加率 教室参加児は定期的に発達相談を受診する 母親のストレス耐性を高める生活改善、リラックス方法習得の保健指導	対象児全員  100%  100%  母親全員			

事業名・目的	評価項目	目標値	結 果	ねらいは達成したか 効果はあったか	課題、翌年度に むけて
	母親がイライラした時の対処方法を知っている人数 自分の時間を見つけるきっかけができる人数	母親全員			
<p>中学校における禁煙教育</p> <p>目的</p> <p>1. 未成年者の喫煙のきっかけを絶つ。</p> <p>2. 生徒及びその保護者が、喫煙による未成年者への健康被害について知る。</p>	<p>未成年者の喫煙率</p> <p>中学一年生の喫煙率</p> <p>中学校における禁煙教育の開催</p>	<p>0%</p> <p>0%</p> <p>モデル校一校 (経年的に開催)</p>			
<p>公共の施設での受動喫煙の徹底</p> <p>目的</p> <p>1. 住民が喫煙による体への悪影響について知識を得る。</p> <p>2. 公共施設での受動喫煙がなくなる。</p>	<p>広報にて喫煙による体への悪影響に関する知識の普及</p> <p>公共施設での分煙・建物内禁煙・敷地内禁煙の取組状況を把握する。</p>	<p>年1回</p> <p>100%</p>			

事業名・目的	評価項目	目標値	結 果	ねらいは達成したか 効果はあったか	課題、翌年度に むけて
<p>生活習慣病健診</p> <p>目的</p> <p>1. 生活習慣病の早期発見・早期治療</p> <p>2. 自分の健康状態を理解する</p> <p>3. 生活習慣の維持・改善</p>	<p>受診者の増加</p> <p>年度当初に年間の健診を周知する (広報・全戸配布チラシ)</p> <p>保健指導対象者の選定と階層化 健康な生活を送るための情報提供 (食事・肥満・口腔ケア・喫煙・ 飲酒習慣について)</p> <p>動機付け支援レベルに対する保健指導</p> <p>20～39歳 40～74歳(特定健診対象者)</p> <p>積極的支援レベルに対する保健指導</p> <p>20～39歳 40～65歳(特定健診対象者)</p>	<p>健診を受ける人の割合 40%</p> <p>年1回</p> <p>受診者全員 受診者全員</p> <p>保健指導実施率</p> <p>30% 30%</p> <p>保健指導実施率</p> <p>30% 30%</p>			

事業名・目的	評価項目	目標値	結 果	ねらいは達成したか 効果はあったか	課題、翌年度に むけて
<p>がん検診</p> <p>目的</p> <p>1. がんの早期発見・早期治療</p> <p>2. 乳がん自己検診の定着</p>	<p>がん検診受診率</p> <p>年度当初に年間の検診を周知する (広報・全戸配布チラシ)</p> <p>精密検査受診率</p> <p>精密検査の受診勧奨</p> <p>乳がん自己検診の定着率(毎月)</p> <p>乳がん検診受診者へ自己検診法の周知</p> <p>乳がん自己検診パネルの公共温泉施設への設置</p> <p>乳がん視触診モデルを使った教室</p> <p>検診会場での乳がん視触診モデル・パネルを用いた啓発活動</p>	<p>30%</p> <p>年 1 回</p> <p>100%</p> <p>要精密検査者</p> <p>乳がん検診受診者 5%</p> <p>乳がん検診受診者全員</p> <p>4 箇所</p> <p>1 回(年)</p> <p>16 会場で実施</p>			

事業名・目的	評価項目	目標値	結 果	ねらいは達成したか 効果はあったか	課題、翌年度に むけて
<p>健康のまちづくりウォーキング大会</p> <p>目的</p> <p>1. 町民スポーツとしてのウォーキングが制定されていることを周知し定着させる</p> <p>2. ウォーキングの利点やもたらす効果を周知し、ウォーキングを楽しむきっかけを作る</p> <p>3. 表彰制度を導入し、ウォーキングへの意欲を高める</p>	<p>健康のまちづくりウォーキング大会の周知と共にウォーキングや運動の効果について広報を行う</p> <p>健康のまちづくりウォーキング大会の計画実施率（開催回数）</p> <p>毎回ウォーキング大会のキャッチフレーズ・テーマを決めて実施</p> <p>参加者数（年代別・地区別に把握）の増加</p> <p>20～64歳の参加者割合が増える</p> <p>継続参加し表彰される人数が増加する</p>	<p>広報年6回掲載</p> <p>年4回実施 (100%)</p> <p>年4回実施 (100%)</p> <p>参加者1500人以上</p> <p>20～64歳の参加者割合 35%以上</p> <p>10%増加</p>			
<p>男性料理教室</p> <p>目的</p> <p>1. 男性の正しい食生活の実現</p> <p>2. バランスのとれた食事内容を知る</p> <p>3. 自分の適正量を知る</p>	<p>計画、実施率</p> <p>食事内容、適正量に気がついていない人の割合</p> <p>食生活改善に関心はあるが今すぐ取り組もうと思っていない人の割合</p> <p>食品の栄養成分表示を参考にする人の割合</p>	<p>100%</p> <p>15%以下</p> <p>25%以下</p> <p>60%以上</p>			

事業名・目的	評価項目	目標値	結 果	ねらいは達成したか 効果はあったか	課題、翌年度に むけて
介護予防教室  目的 1. 活動的な生活の実現 2. 要介護・要支援状態移行防止 3. 自主的活動の展開ができる人材の育成	計画、実施率 参加実人数  3回以上参加者の参加率  生活機能低下リスク者の教室参加数 開眼片足時間の維持・改善した人数 3分間足踏み歩行の維持・改善した人数 痛みの強さが改善した人数  生き甲斐を見出す事ができた人数 生活目標が設定できた人数 行動計画が実行できた人数 適正な食事の摂取量が理解できた人数 口腔ケアの実践ができた人数 教室実施時参加者が役割を自主的にもてた人数 健康診断の受診者数	100% 教室毎 15 人以上 中断者 10%以下 教室毎 2 人以上 維持改善 80%以上 維持改善 80%以上 維持改善 80%以上 維持改善 80%以上 維持改善 80%以上 全員 90%以上 全員 全員 全員 65 歳以上高齢者、受診率 20%			

事業名・目的	評価項目	目標値	結 果	ねらいは達成したか 効果はあったか	課題、翌年度に むけて
介護予防支援  目的 1. 介護状態への悪化予防 2. 生活機能の低下防止 3. 生活の質の向上	生活目標が達成する 介護認定非該当になる 介護予防教室に参加した人数	全員 数人 10人			
生活機能低下者把握  目的 1. 生活機能の向上 2. 介後予防の効果的対策 の確立	生活機能低下者の人数 特定高齢者の把握数 生活機能低下者の心身状態の改善 (介護予防教室参加数・主観的健 康感・開眼片足立ち )	高齢者の5% 高齢者の5% 把握数全員			